

眼科がおすすめする初期臨床研修プラン

外来、病棟、手術のあらゆる臨床現場を経験できます。眼科臨床の基礎を学んで一流の眼科臨床医を目指しましょう。

習得目標

1. 一般的な眼科診療機器を使用して、その所見を記載する。
2. 視機能の評価法、視覚器・視覚付属器の診察・評価法について習得する。
3. 眼科領域の救急疾患への対処法について理解する。

診療および教育体制

- ・ 指導医の指導の下での病棟勤務が診療の主体となる。
- ・ 白内障、斜視、緑内障、視神経障害、眼底疾患等の患者を眼科専門医と共に担当し、個々の患者に対する治療計画の作成、治療の遂行（手術が必要な場合は、助手として執刀の補助を行う）、治療効果の判定、術後管理を行う。

1. 研修病院の選択

A・Bコース

協力型研修病院のうち下記の教育関連施設を選択していただくと大学教室とつながりを持ちやすいです。いずれも1～3名の眼科医を派遣しており一般眼科臨床を経験できます。

Cコース

下記の協力型研修病院と研修協力施設で短期研修が可能です。

眼科の教育関連施設

協力型研修病院	JR 札幌病院	NTT 東日本札幌病院	天使病院
(たすきがけ病院)	江別市立病院	市立千歳市民病院	岩見沢市立総合病院
	小樽市立病院	市立室蘭総合病院	苫小牧市立病院
	伊達赤十字病院		
研修協力施設	札幌東徳洲会病院		

2. 眼科医になるために研修が望ましい診療科

眼と関連する全身疾患は意外に多いためこの科を選択しても大丈夫です。眼（眼窩部）は神経、筋肉、血管、脂肪、結合組織などで構成されていますので、そのことを意識すると全身とのつながりも見えてくるのではないのでしょうか。

内科系ですと糖尿病、高血圧など遭遇する頻度が高い基礎疾患の理解、外科系ですと手術の基本手技（運針、縫合技術（とくに顕微鏡を使用する手技）など）や術後管理など学んでおくとよいと思います。

眼科は専門性が特に高いので大学病院での研修を長期間選択されることをお勧めします。

3. コース選択（いずれも一例です）

Aコース：大学病院（専門分野を主に学ぶ）から研修を開始するコース

1年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (消化器)		必修 内科 (循環器)		必修 内科 (呼吸器)		必修 救急		必修 救急 (ICU)	必修 外科	必修 産婦人科	選択 眼科	
2年次 協力型研修病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 地域医療	必修 小児科	必修 精神科	選択 眼科 (一般眼科)									

Bコース：市中病院（一般眼科を主に学ぶ）から研修を開始するコース

1年次 協力型研修病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (消化器)		必修 内科 (循環器)		必修 内科 (呼吸器)		必修 救急		必修 救急 (ICU)	必修 外科	必修 産婦人科	必修 小児科	必修 精神科
2年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 地域医療	選択 眼科 (一般および専門外来)											

Cコース：2年間大学病院で研修するコース

1年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (消化器)		必修 内科 (循環器)		必修 内科 (呼吸器)		必修 救急		必修 ICU	必修 外科	必修 産婦人科	必修 小児科	必修 精神科
2年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 地域医療	選択 眼科 (協力型研修病院)			選択 眼科 (一般および専門外来)								